



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

やらまいか

クラブテーマ：みんな仲良く!地域に、地球に奉仕しよう!

会長/林 博宣 幹事/小田伊佐浩 会報委員会/青谷友章・大仁孝泰 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP:<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第29回 通算1668回 2022年3月29日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/15 修正出席率
		72名	36名	57.1%	66.1%

ゲスト：国府高校 Zoom、小坂井高校 3名、豊川高校 3名、豊川工科高校 2名、宝陵高校 4名
御津高校 3名

★会長あいさつ

林 博宣会長



皆さん、こんにちは。各高校の皆さんには、植樹式で大変お世話になりました。本日の例会を担当して頂く、青少年奉仕委員会、クラブ戦略委員会さん、どうぞよろしくお願い致します。

2019年の7月を最後に新型コロナによって、各学校のボランティア活動の発表例会を中止させて頂きました。まだまだボランティア活動の機会は少ないと思いますが、後ほどご報告をして頂きます。

高校生の皆さんは、今回が初めての参加になると思います。“ボラン・コラボ・穂の国7”のこと、“ロータリークラブ”のこと少し紹介させて頂きます。

ボラン・コラボ・穂の国7は、2007年4月に豊橋ゴールデンロータリークラブにご指導を頂き結成されました。豊橋の高校生のボランティアをサポートされており、豊川でも作ったらどうかと呼びかけられて発足したそうです。ボラン・コラボ・穂の国7という名称は、発足当時の高校生の皆さんが決まりました。その「7」は、6高校と我々ロータリークラブで「7」かと思ったら、ボランティアされる側が「1」でボラン・コラボ・穂の国7とのことだそうです。

ロータリークラブは、1905年にアメリカのシカゴで誕生しました。豊川市内には、私たちの豊川宝飯ロータリークラブともう一つ、豊川ロータリークラブがあります。東三河に12クラブ、愛知県に84ク

ラブ、約4,900人の会員がいます。愛知県は1つの県で一つの地区となり、毎年代表者が選出され、代表者をガバナーと呼びます。今年度は安城ロータリークラブから杓名ガバナーが選出されています。今回のカーボンゼロ・プロジェクトは、杓名ガバナーの行動方針の一つのカーボンゼロ支援を意識した事業です。2050年を目標としたカーボンニュートラルが実現される頃、私は生きていれば90歳を超えています。ここにいるロータリーメンバーも同じぐらいです。現在高校生の皆さんは、40代の責任世代となっています。カーボンニュートラルの実現は、相当長い道のりとなると思います。後輩の皆さんに引き継いで頂けるようにお願いしたいです。今回のカーボンゼロ・プロジェクトのプレートは30年以上持つ素材で作成しています。高校生の皆さんにとって、このカーボンゼロ・プロジェクトがカーボンゼロを考えるキッカケとなって頂ければ大変嬉しく思います。本日の例会よろしくお願ひします。

★幹事報告

小田伊佐浩幹事

次回例会について
4月11日の分区ゴルフ大会開催について

★委員会報告

井指光基パスト会長のあいさつ

★クラブ戦略&青少年奉仕担当例会

クラブ戦略委員長あいさつ 土井昌司委員長



今日の例会は、鈴木委員長の青少年奉仕委員会のボラン・コラボ・穂の国7となりますが当委員会も少しお手伝いをさせていただいた経緯もあり

挨拶をさせていただきことになりました。

今年度のクラブ戦略委員会の事業の一つとしてカーボンゼロ・プロジェクトがあります。この事業は次世代を担う地元の高校生の方々に参加していただき地球温暖化の原因と1つとされていますCO2削減活動として校内で植樹を実施してもらいカーボンゼロをはじめとする様々な地球環境問題を考えるきっかけの場の提供と、また今回のコロナ禍で例年通りの対外的なボランティア活動ができないでいる高校生のために学校内でできる活動を提案させていただきボランティア活動の活性化に少しでも結び付けたいとの思いもあり事業を展開してきました。

内容につきましては、これから発表となりますが、このカーボンゼロ・プロジェクトは約1年をかけての活動となりCO2削減のための木や花の選定から植樹式まで高校生が中心となり展開できたことは大変良かったと思います。また、各高校の担当の先生方におきましてもこの活動に大変前向きに取り組んでいただき本日の発表会までご指導いただきましたこと感謝いたします。

そして我々ロータリーとしてもクリーンな地球を若者に引き継いでいくために経済第一主義の活動でCO2を無制限に排出してきてきた我々にも重大な責任もありますので今日からでも遅くありません。それぞれが持続可能な開発目標を設定してまず行動に移していきましょう。

青少年奉仕委員長あいさつ 鈴木忍委員長



こんにちは。本日は6校の皆さんご出席を頂きましてありがとうございます。各学校の発表を大変楽しみにしてお

ります。よろしくお願いいたします。いつもは、この例会が終わった後で高校生だけの交流会を行っていましたが、コロナの関係で取りやめさせて頂きました。それでは、各学校の発表を宜しくお願いします。

6 高校の活動発表

国府高校の発表



先日のカーボンゼロ・プロジェクトの植樹に来ていただきありがとうございました。今後も私たちができる事を考えて取り組んで

いきます。

令和3年度、国府高等学校の生徒会活動報告及び今後の活動予定について発表します。

私たち生徒会は、アイシティプロジェクト、清掃活動をして来ました。例年行っていた“ゆうあいの里”のボランティア活動は、新型コロナウイルスの影響もあり、中止となりました。

赤い羽根募金について、3日間購買や職員室で募金の呼びかけをし、その結果、生徒や先生方の協力で、38,595円集めることが出来ました。

アイシティプロジェクトについて、この活動は、校内にコンタクトケースの回収ボックスを設置し、一年間、空ケースの回収を行いました。プラスチックケースにコンタクトのフィルムがついているとリサイクルできないため、生徒の協力を得て、空ケースの一つ一つの確認を行いました。この回収したコンタクトケースは、リサイクル工場でゴナゴナにし、加工され、再生ポリプロピレン素材へと変化して、様々なリサイクル製品に生まれ変わります。ボランティア活動の協力も多い一方で、コンタクトケースにフィルムがついているものも多く、確認が大変だったため、来年度の生徒会役員には、呼びかけの対策をしてもらいたいと思います。

清掃ボランティアは、部活動に所属している生徒に参加してもらい、校内だけではなく、私たちが普段登下校に使う道路の清掃を行いました。前日に雨が降り、側溝には雨水を含んだ泥が溜まっていましたが、参加してくれた生徒と先生方のお陰で取り除くことが出来ました。校外清掃は続けていきたいと思ひます。

今後行う予定のフードバンクについてです。フードバンクとは、賞味期限が近く食品への品質は問題ないのに製造や販売が困難な食品や食材をNPOが食品をメーカーから引き取って、福祉施設などへ無償提供するボランティア活動です。この活動のメリットとして、食品廃棄物の削減、環境負荷低減があると期待されています。また集めた食品は、貧困者の方々などにも配られるので、その方々の生活の手助けができます。

最後にカーボンゼロ・プロジェクトについてです。植樹をキッカケにSDGsについて学び、一人一人が地球環境のためにできることを発表しました。今後、一人一人が自分で出来ること、小さいことを積み重ねること意識していきたいです。

以上、国府高校の活動報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

豊川工科高校の発表



今年の豊川工科高等学校ボランティア部の活動を発表させていただきます。

私たちの今年の活動は、大きく分けて4つあります。まず

1つめは、プリアで行われている「子どもモノづくり教室」の子どもたちへの工作の指導の補助です。2つめは、様々な講座への参加です。3つめは、夏休み中に本校で行われたSDGsカードゲームへの参加です。4つめは、近年話題になっているSDGsやカーボンニュートラルに関する学習です。また学習の一環として、アンケートを制作し、生徒に実施してもらい、結果をプリントにまとめて配布します。まだ結果のプリントは配布していないので、後日配布をする予定です。

それでは、今お話をした4点をもう少し詳しく説明をします。

「子どもモノづくり教室」は、紙を切ってテープでつけるような簡単な作業から、ハンダ付けやモーターの回転を伝達させるための部分の製作など、かなり難しい作業もあり、小学生に教えるには、こちら側も時間内に完成できるように指導するのが難しく、私たちも毎回多くの事を学んでいます。

2つ目の講座への参加は、私が参加させて頂いたのは、災害ボランティアコーディネーターの講座と

子ども用車椅子の講座です。災害ボランティアコーディネーターの講座では、実際に大きな災害が起きた際に、ボランティアとして被害を受けた方への対応やガレキ撤去などに使用するスコップや軍手などの道具の貸付けをする受付などのやり方などを学びました。子ども用車椅子の講座では、子ども用車椅子とはどのようなものなのか、という説明や子ども用車椅子を使用している人の実体験などを聴きました。実物の子ども用車椅子が展示してあり、体の障害によって様々な形の車椅子があることを知り、どのような問題点があるのか、どのような援助をしていけるのかなど理解できて、とても勉強になりました。

3つ目のSDGsカードゲームへの参加は、“SDGsカードゲーム”というSDGsの取組みをカードゲームで簡単に分かりやすく学習できるというものです。ルールを説明するに発展、自然の保護、人権の尊重の3つを上手く両立させて、理想の社会をつくるというものです。私たちは、科学の発展と自然の保護の両立の難しさや、一つ一つの行動に掛る時間や費用など学ぶことが出来ました。

4つ目のカーボンニュートラルのアンケートの実施は、本校の生徒がカーボンニュートラルについての関心や知識があるかということを調査するために実施しました。カーボンニュートラルという言葉は知っていても、関心がない生徒が多く、この結果をもとに今後の活動に繋げ、私たちの世代で終わらせるのではなく、後輩たちが後を引き継げるようにしたいと思います。

私たち豊川工科高等学校ボランティア部は、より一層ボランティアに真摯に向き合い、人助けや地域の活性化のために尽力していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

小坂井高校の発表



小坂井高校の発表をします。

はじめに前期の活動報告です。前期では、主に使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収、ペットボトルキャップの回収、「ごごかい葵風祭」のボランティアをしました。

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収は、

資源のリサイクル並びにその対価を目の不自由な方へ寄付するために行っているものです。放送やポスターなどで生徒に呼びかけ回収に力を添えています。

ペットボトルキャップの回収は、本年度からスタートした活動で、多くの生徒の協力のもとペットボトルキャップを集めることが出来ています。回収したキャップは、世界の子どもたちへのワクチン支援に繋がります。

「こごかい葵風祭」のボランティアは、本年度オープンした「こごかい葵風館」のボランティアに生徒会メンバーで参加し、地域の子どものぬりえや風車の飾りつけ、一般の方の検温、館内の案内などのお手伝いをしました。地域の方々とコミュニケーションを取ることができ、とても良い機会となりました。また、このイベントを企画運営した市役所の方と話をさせて頂きました。小坂井町では、風車が郷土玩具になっていることや、コロナ禍でのイベント開催で意識することなど、学校祭を企画運営する上で私たちが知っておきたいことを聞くことができました。

続いては後期生徒会の活動についてです。主に、クリーン大作戦、葵風館のボランティア、カイロ回収、衣類リサイクル、カーボンゼロ・プロジェクトを行いました。

クリーン大作戦は、学校の周りのごみ拾いをする活動です。毎年行っているものです。部活動と有志の生徒が一丸となって沢山のごみを回収しました。

葵風館のボランティアは、地域の子どもたちと一緒に館内の一部スペースをクリスマス仕様にしました。クリスマスツリーは、生徒会と有志の生徒と子どもたちと約2週間かけて作成しました。子どもとの触れ合いや地域の施設ボランティアに参加できたことは、とても良い機会になりました。

カイロ回路について説明します。皆さんは使い終わったカイロをどう処分していますか？

この冬、本校では、全校生徒からカイロを集めて再利用する活動を行いました。集めたカイロは、Go Green Groupさんに送り、世界の水を綺麗にするために使用されます。

衣服リサイクルは、難民の子どもたちのために私たちが出来ることは何かないだろうか、そう思い企画しました。このイベントは、来年度の春からスタートします。多くの生徒が参加し、いい活動になることを願っています。

最後に、カーボンゼロ・プロジェクトについてです。環境問題が話題になっている今、豊川宝飯ロー

タリークラブさんに話を頂き、CO₂を排出しにくいオリーブの木を植えました。これは、生徒会にとって環境問題について考え続け、活動を起こすための良いキッカケとなりました。

本年度の生徒会では、コンタクトレンズケース、ペットボトルキャップ、カイロ、衣服など、普段使っているものを回収し、リサイクルすることで社会問題の解決に少しでも近づくことが出来るかもしれない、そんな思いで活動をして来ました。コロナ禍でもたくさんの方々に支えられ、このような活動を行うことができ、活動内の気づきや学びを次のステップに活かしていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

豊川高校の発表



本日は豊川高校がカーボンゼロ・プロジェクトの学びのために行ってきたことを発表します。

本校は、カーボンゼロ・プロジェクト

の学びを深めるため、社会や企業が行っていること、私たち高校生が行えること、主に3つの事に視点を置き考えてきました。

カーボンニュートラルについての調べの学習をして脱炭素を目指す上で、個人でも行えることが出来ることの知識を増やすことが出来ました。

豊川宝飯ロータリークラブさんにご提供頂いたオリーブの木を植樹しました。オリーブの木の花言葉は、「平和」「知恵」「勝利」です。豊川高校では、毎年8月7日の豊川海軍工廠空襲のあった日に、全校生徒の登校日とし、追悼式を行ったり、毎月7日には生徒会中心に慰霊塔の清掃を行っています。修学旅行に行く前には、沖縄であった戦争について学習を行ったりと、平和学習に力を入れています。このような世界の平和への祈りを込めているときに、ウクライナとロシアの間に戦争が起こってしまい、多くの尊い命が犠牲になっています。1日でも早く戦争が終了し平和になることを願います。さらに「知恵」「勝利」は、文武両道を目指している豊川高校にふさわしいと思い、生徒会執行部でオリーブの木を決めました。これから大切に育てていきます。

身近な企業が脱炭素に向けてどのような活動をしているか調べました。ですが、調べただけでは分か

らないことが多く、全校生徒に分かりやすく伝えることは難しいと感じました。そこで、調べた企業の(株)イオン様と(株)サーラコーポレーション様へ直接お話を聞きたいと、今後、企業訪問を予定しています。(株)イオンでは、電気自動車の環境に優しい自動車の充電場所を設けたり、再生可能なエネルギーを利用した太陽光発電を屋上に設置、プラスチック削減に力を入れる「イオンふるさと森」という地域に植物を植樹する活動などを行っています。企業訪問では、更に調べただけでは分からなかった点について直接聞き、今後の私たちの活動に活かしていきたいです。

これまでの学習や訪問を通して、本校のカーボンニュートラルに携わることが出来ないだろうかと生徒会執行部で話し合い、各クラスに再生紙を集めるリサイクルボックスの設置、エコキャップ回収の強化週間を作り、更にエコキャップ回収の強化を図ること、今回調べて学んだことを一人でも多くの本校の生徒に知ってもらうため、今日のような発表を生徒総会で全校生徒に発表することを企画しています。

カーボンゼロ・プロジェクトについて知ることで、今まで考えることのなかったカーボンニュートラルがこれからの持続可能な社会づくりに繋がっていると気づき、私たち高校生でもできることがあると分かりました。身近な企業が行っていることについて知ることもでき、SDGsにより重要性が増している社会問題について主体的に考える機会になりました。ご清聴ありがとうございました。

宝陵高校の発表



僕たちができるカーボンゼロ・プロジェクトについて発表します。宝陵高校には、衛生看護科、福祉科があり、普段から衛生看護科では人体の構造な

ど看護における基礎知識と人々の健康支援について学んでいます。福祉科では、介護技術を身に着けながら、高齢者の方々への援助方法について学んでいます。

今回、カーボンゼロ・プロジェクトに参加したキッカケは、二酸化炭素の増加によって地球温暖化が進んでいくと、環境破壊だけでなく、人々の健康に影響を及ぼすことを知ったからです。

日本の平均気温は、1898年以降では、100年あたり、およそ1.2度の割合で上昇しています。特に1990年代以降、高温となる年が頻繁に表れています。気温の上昇に伴って、熱帯夜や猛暑日が増え、熱中症の発生病数も増加しています。また、気温の上昇によって、水温が上昇し、大腸菌などが増加し、汚染された水による感染症が増加することや、蚊などの生物による感染症が発生する危険が高まると考えられています。

そこで、私たち高校生が出来る行動として、二酸化炭素の排出量を少しでも減らすために、エアコンの温度を適切な設定にすることだと考えました。適切なエアコンの設定温度は、夏場25～28度、冬場18～22度がもっとも適切な温度と言われています。エアコンの設定温度を1度調節するだけで、大きな省エネ効果が期待できます。夏場では、冷房の設定温度を25～28度に変えるだけで、消費電力を約13%減らすことができ、CO2排出量を年間7.8kg減らすことができます。冬場では、暖房の設定温度を1度低くすると、約10%消費電力を削減し、21度から20度に変えるとCO2排出量を年間16.8kg減らすことができます。

次にエアコンの過剰使用による人々の健康への影響についてです。エアコンにより室内を暖め過ぎたり、冷やし過ぎたりすると、体はその環境に適用します。快適な環境に体が慣れてしまうと、自律神経は働かなくなり、体温調整機能が低下していきます。夏になると熱中症や夏風邪が多くなるのも、このような理由です。体温調節機能が低下すると、自分自身で体温を下げる事が出来なくなり、エアコンを更に使うようになるため悪循環になります。エアコンの適切な温度設定をするだけでも、地球温暖化の進行を抑えるだけではなく、人々の健康にも良い影響があるのが分かりました。個人での対策では成果は小さいかもしれませんが、対策を知る人が増えることで成果も大きくなると思います。

そこで、今回調べたことで、私たちは生徒会の活動として生徒会新聞の発行と花の植栽を行いました。新聞では、学校の生徒にもカーボンゼロ・プロジェクトを少しでも知ってもらえるように、「カーボンとは何か」「カーボンゼロ・プロジェクトはどういったものなのか」「生徒会はどんな活動をおこなっているのか」を書きました。実際の新聞をご覧ください。

お花は、生徒会で話し合い決めたものから、春の入学式に満開になるような花を選別して植えました。入学式に満開になると祈っています。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

御津高校の発表



本日は、今年度、行ってきたボランティアについて報告します。

MVPについて紹介します。MVPとは、御津ボラン

ティアプロジェクトの略で、主にボランティアを中心に活動している組織です。今年度より活動を開始しました。校外へのボランティアは勿論、校内のボランティアや生徒会執行部のサポートもしています。

その中から6つの活動を紹介します。

1つめにグラウンドの整備です。今年度の10月に行われた体育大会のために整備をしました。グラウンドには、たくさんの石や草があり、ケガなどを防止する目的で行いました。MVPのメンバーだけでなく、全校生徒にも参加を募集した結果、たくさんの生徒が参加をしてくれました。ケガ防止に繋がることの活動は、とても重要だったと感じました。

御津高校の強みを活かしたボランティアも積極的に行っています。その一つが、熱中症予防ポスターへの取り組みです。これは豊川市、御津高校、大塚製菓さんの3者間の包括連携協定によって実現されたボランティアで、海外へのルーツのある生徒が多い御津高校の特徴を活かし、日本住んでいる外国の方向けに熱中症予防を呼びかけました。

続いて「YORUMO-DE」についてです。これは豊川稲荷で毎月22日行われており、私たち7月と8月に参加をしました。新型コロナウイルスによる影響で参拝客が大幅に減少しました。そこで、豊川稲荷と豊川年会議所の皆様、ネイキッドの皆様が、豊川稲荷の活気を戻すために長い月日をかけて考えて下さり、ついに今年開催されました。私たちは、コロナ禍でも安心して参加して頂くため、参拝客の検温や提灯を渡す仕事をしました。この仕事をしてみて、言われたことをただやって終わりではなく、他に自分ができる事を探してお手伝いすることが大切だと学びました。

続いて「Mito Inari Company」についてです。Mito Inari Companyとは、豊川市周辺の4高校と和食処松屋さんと共同して、オリジナルいなり寿司を作成

するために作られたボランティア組織です。10月23日豊川稲荷商店街にて実施されました。販売や広報など5つのグループに分かれ、いなり寿司の案は全員で協力して生み出しました。4校のうち、御津高校のオリジナルいなり寿司が一番売上げがよくて、優勝させて頂きました。この春から松屋さんで御津高校のいなり寿司が販売されるので、是非食べてみてください。

5つめはペットボトルキャップの回収です。これは来年度も継続して行うボランティアの一つで、夏ごろから企画していました。貧困に苦しむ海外の子どもたちのために、私たちができることは、このペットボトルキャップの回収でした。全校生徒一人一人が集めてくれたキャップは、加山興業(株)の皆様のご協力でワクチンに変えられます。たくさんの生徒が協力をしてくれて、とても嬉しかったです。

6つ目は、中庭への植樹です。12月頃、MVPだけでなく生徒会執行部とも協力をして、学校の中庭に春の花を植えました。今回は豊川宝飯ロータリークラブの皆様がご協力してくださいました。花壇は、今まで使われていなかったもので、土を耕すところから始め、全てを掘り起こし、新しい土を入れました。そこではチューリップなどを植えました。今までは中庭を使う機会がとても少なかったもので、今回の活動によって中庭がとても華やかになりました。3月3日には、豊川宝飯ロータリークラブの皆様との植樹式を行いました。SDGsの目標にも含まれている2050年までのカーボンニュートラルの達成を目指し、私たち高校生が今から環境について考えていく良い機会になりました。

最後にまとめです。今年度も御津高校の生徒は、たくさんのボランティアに参加することが出来ました。この他にも中学校へのPR動画の作成やSDGs講演会への参加なども行いました。来年度も更に御津高校らしく様々なボランティアに積極的に参加していきます。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

土井昌司会員 本日の例会を担当します
鈴木 忍会員 〃
井指光基会員 御礼

会報担当：青谷友章・大仁孝泰